東中だより

令和７年４月３０日（水）　余市町立東中学校　発行

校訓「進取」「利他」

学校教育目標

○自律・・・自ら考え　判断し　行動する力

○尊重・・・多様性を受け入れ　対話して解決する力

○創造・・・豊かな発想で　新たな価値を生み出す力

温かいご支援をお願いいたします

校長　明　村　秀　之

北海道にも桜前線が上陸し、これから各地で満開の花を咲かせてくれるのが楽しみです。余市町の桜づつみは年々見応えが増していますので、満開の桜を想像するとわくわくします。

令和７年度は、新入生５９名を迎え、全校生徒１６８名（4/1 現在）、学級数９学級（特別支援学級３学級含む）、教職員３０名（町職員含む）でスタートしました。

新年度は新しい出会いによって始まります。４月７日の生徒たちとの出会いを大切にするために、担任だけでなく全職員が力を合わせ、念入りな打合せ、教室準備、学級開き準備等に取り組みました。「人の一生は、出会いをとおして、心を養い、考えを深め、生き方を探る」といわれます。このことは子どもたちを指導する立場として､心に焼き付けておく必要があると、新しい一年の始まりにあたり、毎年のことですが、あらためて強く思ったところです。

教師と、子どもたちと、保護者の皆様が「お互いによい出会いであった」といえるように、この一年努めてまいります。

さて、今年度の学校経営重点目標を

『あきらめない力』の育成
（「挑戦する勇気」「粘り強さ」）

と設定しました。

全国学力・学習状況調査、単元テストや学力テストなどの結果から、基礎的・基本的な学習内容の定着をより確かにすることが強く求められる現状です。しかしながら、それ以上に懸念されることは、深く考える前に解答を断念したり、自分にはできないと決めつけたりなど、あきらめてしまう傾向が多く見られることです。これらを改善するためには、授業の中で個別最適な学びと協働的な学びの両立が欠かせなく、基礎的・基本的な学習内容の定着をより確かなものにするとともに、集団としての学びあいの質を高め、何よりも学ぶことが楽しいと実感できることが重要です。学校全体で授業改善に一層取り組んでまいります。

また、生徒会活動や部活動、その他日々の取組の中で、物事をやりきる経験は心身共に大きな成長につながります。そのために、さまざまな活動の中で、自己有用感を高める経験が不可欠です。「規範意識の醸成」「自己存在感の感受」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場の提供」に留意しながら、主体的に挑戦してみることや多様な他者と協働して創意工夫するなどの体験的な活動をとおして、挑戦する勇気や粘り強さが発揮できるよう指導してまいります。

激しい変化の時代だからこそ、学校単独だけの取組では、なかなか前進させることができないことがたくさんあります。保護者・地域の皆様には、本校に対してのご理解とご協力をこれまで以上にいただきながら、今年度の取組を進めてまいります。お力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

学校だよりは余市町ホームページに

学校だよりについては、各区会の回覧で地域の皆様にお読みいただいておりましたが、今年度から余市町ホームページに掲載されることとなりました。ホームページについては、不特定多数の方が閲覧できることから、児童生徒名や顔写真などについては個人情報保護の観点から掲載はいたしません。５月から、学校だより巻頭言のほか､諸活動の様子を掲載する予定です。